

まことにゆかいきわまりない

横須賀市立ろう学校 中高等部通信 第2号

平成30年(2018年)4月24日

楽しかった歓迎会

今年度は新生生がいませんが、K先生が初めて中高等部に入られたので、4月9日(月)5校時、体育館で歓迎会を行いました。

種目はバレーボールですが、レクリエーションなので、ビーチボールのようなボールを使用しました。しかし、W先生のスパイクが高3に直撃したり、ラリーが続かなかったりしたので、2セット目は大きな風船を使用しました(画像矢印)。すると、今度はラリーが続きすぎて、なかなか点が入らなかったため、時間制にルール変更しました。でも、ラリーが続いたので、みんなで楽しめました。

A先生とK先生はバレーボール経験者で、とても上手でしたね。



生徒会活動を通して力をつけよう

生徒会執行部、美化保健委員会、図書委員会の担当生徒が担当の先生と年間計画を作成し、生徒総会で討議しました。

中高等部生徒は、学校の代表として、様々な活動を行います。誰かがやらなければいけないことを、あなたがやる、ということです。苦勞するほどやりがいを感じ、自分で何かを行うときの財産になります。みんなで決めたことを実行し、学校の役に立ちましょう。



♪春の うららの 隅田川～

中3は音楽の授業で、武島羽衣たけしまはごろう作詞、滝廉太郎たきれんたろう作曲の名曲『花』を学習しており、帰り支度じたくなどをしているとき、『花』を歌っています。

滝廉太郎(生まれは東京)が過ごした大分県では、自動車も『花』を歌うのです。メロディーロードみぞといって、道路につけた溝の上を、自動車が一定の速度で走ると、タイヤが『花』のメロディーを奏かなでます。なお、大分県には、滝廉太郎のもう一つの代表曲『荒城こうじょうの月』のメロディーロードもあります。